

# ちょっぴり 暮らし豊かに

## アップサイクル米袋 KOMEBUKURO Bag

アップサイクルとは、少し聞きなれない言葉ですが、反対の言葉としてダウンサイクルという言葉もあるそうです。

ダウンサイクルは、使用済みの製品を再利用する際、その価値を低下させて再利用することを指します。例えばTシャツやタオルなどを雑布として、拭き掃除などに使用するなどですが、アップサイクルとは素材をそのまま活用し、環境への負荷軽減を目指し、さらに新たな付加価値をプラスして、再利用する方法をいいます。

今回は使用済み米袋をアップサイクルにより、デザイン性があり実用的なトートバッグに仕立てる手法を、わが社の社長の奥様でもある降幡亜希さんに手ほどきいただきました。

◆ 使用済み30キロ米袋を丸々余すことなく使用します。

米袋の出来上がりイメージし、マチの厚みや袋の深さ、持ち手は三つ編み、縄編み、帯状から選択し、接着剤が乾くの待ち、柿渋を刷毛で塗布します。

作業に取り掛かり米袋を逆さまにすると、カラカラとお米が転がり落ちてくる音がします。米袋自身これからバッグになるなんて、想像できないだろうな...と思いつながら。

◆ 米袋の印刷をそのままデザインとしてもよし、裏返してアクリル絵具で型押しや模様を描いても素敵なバッグができます。お米を保存するだけで使え道がなかった袋ですが、第2の人生の道が開けたようです。

◆ 降幡さんは、米袋バッグのワークショップをきっかけにたくさんの方のご縁をいただいたことに喜びを感じているといい、またご自身も参加者さんとの会話を楽しみ、環境問題や、高齢者の運動機能アップにも役立てたいと前向きな言葉に元気をもらいました。今後のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

◆ そして今年はお米の流通や金額が安定し、コメ不足が解消されていることを願っています。

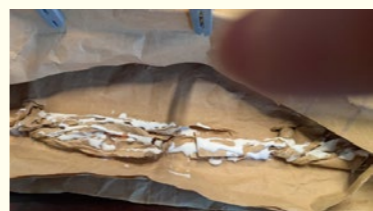
### ■米袋バッグの作り方



①マチの厚みに折り、接着します



②バッグの縁に切り込みを入れ、編んだ持ち手を差し込みます



③差し込んだ持ち手を縁紙で包み込むようにして接着します



④左：袋を裏返したバッグ  
右：文字を活かしたバッグ



▲降幡亜希さん  
自作のバッグを紹介していただきました

# ゆたか

vol.20

発行日：2026年4月



## 山共建設株式会社

— 創業大正10年 —

〒399-8102  
安曇野市三郷温 3350  
TEL. 0263-77-3161  
<https://yamakyo-k.com/>  
✉ [kentiku@yamakyo-k.com](mailto:kentiku@yamakyo-k.com)

山共建設 会報誌「ゆたか」

発行日：二〇二六年四月二十四日

発行所：山共建設株式会社

発行人：降幡聡

印刷所：(株)成進社印刷

電話：〇二六三—三三三—三〇一

### お客様の声

## 生き甲斐

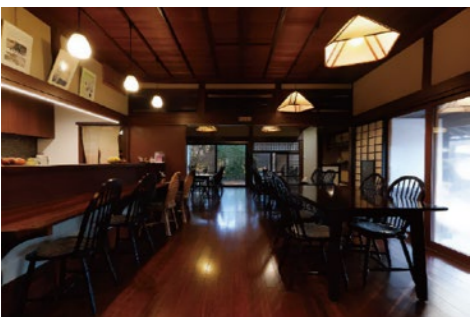
## 美術愛好家 白川 皓資様

(松本市寿)

心ときめく桜の開花となりました。小生狭義の世界で生きて来ました。父は村役場収入役の時、昭和十九年十一月に三十八歳で病死。姉八歳・次女六歳・私四歳・妹三歳・母、祖母の六人を残し、さぞ無念であったろうと年を重ねるごとに心がいたみず。覚えていた事はヒザへだっこして爪を切っていた事、兵隊さんが通る時、肩車をして二〇m程手前まで行き、見せていただいた事など。中学生頃より新聞に載っている心に残る記事を切り抜いていました。それらは宝石に想われるようなものもありました。美術・工芸・美術館・美しく心ときめく写真・



▲古民家を店舗に再生した 和ダイニング しらかわ  
右：息子さんが営まれる和ダイニングを  
お手伝いする白川皓資さん  
中：息子さんと店主の太一さん  
左：皓資さんの奥様



▲松本民芸家具が設置され、落ち着いたを感じる店内

共銘する言葉・餅白・桜・薪ストーブ・蔵・土蔵・木造建築・山共建設株式会社・西岡常一様・降幡廣信先生・池田三四郎様・民芸生活館・丸山太郎様・松本民芸館・三代沢本寿様、すぐれた魅力ある方々が多くおられます。美しいパンフレットなど収集して楽しんでいました。

◆ 日本画は高校生の頃からで、用具・用材・絵具、技法に魅かれて：一九五九年発行の「日本画の技法」執筆者・吉岡堅二、福田豊四郎、東山魁夷、上村松篁、橋本明治らであり、鶴林堂で求められた。六十七年前三五〇円でしたが、今でも新鮮に生かされている本です。ゆくゆくは美術館的空間

を造りたいと許せる範囲で求め集めた食器類は面白く楽しく、年月を経た環境へ展示したいと思っておりました。小生の敬愛する日本画の先生(故人)に学ぶ、打込、集中は「気持ちの良いものだよ」と教えていただいた事を思い出します。「私に音楽がなかったら生きてこられなかった」久しぶりにお逢いした同級生の言葉でした。姿はそれぞれ異なっても人の数だけ

輝く世界がある事を。日々生活の中で喜びを彩る品の中に醤油差しの物がありました。たかが小さな品物です。水戸偕楽園御庭焼。江戸後期に制作されたものと思われ。蓋と胴が紫色で、緑青透明釉の上に流れています。持つ所は松ボックリが付いて液体の伝わりは、本体の中へ戻る様配慮されています。正式の場で耐えうる作品です。静かで落ち着いた、目立たないが存在感が有り美しい。人が心と体で造り出されたもの。五感で接し生きる力を授けられる。自分に合ったもので癒され楽しみ感動したい。切り抜きの中に永遠の白鳥！七十歳を超えた今も全身全霊で踊り続ける二十世紀最高のプリマ・バレリーナ、プリセツカヤさんの公演が長野市で一九九七年、松本市で一九九九年開催された。二〇一二年、八十六歳で外国人叙勲。ロシアのバレリーナに大の親日家として知られ、これまで約四十回にわたって訪日。「私と日本は特別関係。日本の食事や教育、文化、全てが気に入っています」。瀕死の白鳥―その気高き、美しさは伝説として語られる。神品な世界に驚かされます。

◆ 先人の言葉によく出て来る最も美しいとされる天に星、地に花、人に愛、の心で生きられたらまさに理想郷に思われる。



# 歳時記

秋 冬

## R8年1月 弊社のホームページが刷新されました

弊社のホームページが刷新されました。山共建設を多方面から知っていただけるよう、事業内容や新築・リフォームの施工事例も多数掲載いたしました。建物に対する想い、また職人さんや職員の取り組みもご覧いただけます。これから住宅や店舗など工事をお考えの皆様の参考にさせていただけたら幸いです。



スマートフォンで見やすくなっておりますので、ぜひご覧ください。  
<https://yamakyo-k.com>

## R8年1月 相談役 降幡廣信が文化庁長官特別表彰を受けました

この度、相談役の降幡廣信が永年の古民家再生の普及啓発に貢献したことを評価され、文化庁長官特別表彰を受けました。このころは、古民家再生というフレーズは日常的に聞かれるようになりました。降幡が昭和36年に家業を継ぎ、国内初の民家再生工事に着手し、試行錯誤のち再生手法を築いたことは、現在の再生技術の礎となったのではないのでしょうか。96歳となり、これまでお世話になったお客様、これからのお客様とともに、あと10年は働き地域に貢献したいと語っております。毎日のウォーキングと、気の置けない友人と食事に出かけることが、目下の楽しみだそうです。



これから友人と食事に出かけます

## R8年2月 山共建設協力会総会

今回で58回目となる協力会総会が開催されました。永年にわたり、弊社の業務にご尽力いただきました、山田建築 山田昇様と柳澤左官店 柳澤忠則様が退会されました。お二人が施工に携わったお宅から、退会を惜しまれる声も聞かれましたが、これからも職人の技術を次の世代へ繋いでいただけるようご指導をお願いいたします。また、令和8年は役員改選により、逸見内装 逸見稔様を会長に新体制により活動して参ります。ご協力のほどよろしくお願いたします。



総会では本年度の活動内容などが決議されました

## R8年3月 社内のトイレの改修工事が完了しました

昭和59年の建築当時から使用してきたトイレ。男女が同じ空間を使用しておりましたが、このたび念願の男女別となりました。建設業界は男性社会のイメージが強いですが、女性にとって働きやすい環境に整備していくことが時代の流れです。

「TOTO レストパルF」  
全自動で壁掛・壁排水タイプ・便器が床に接しておらず、壁に固定されているので、お掃除らくらく。



左右に分かれた男女トイレ

## 持続可能な観光地づくりに貢献

安曇野市、本陣等々力家の「古民家再生・活用事業」が開始しました。江戸時代に松本城主の狩猟休憩場として使われた建物のうち既存の「長屋門・母屋・土蔵5棟」など再生し、宿泊・文化交流促進・レストランに再生・活用する計画です。本プロジェクトは宿泊・飲食業・ブライダル事業を展開する扉ホールディングス株式会社、株式会社アルファコンサルティングと山共建設の3社のコンソーシアムで事業を進めており、2030年の開業を予定しています。



市有形文化財の長屋門

## 塗装の耐久年数はどのくらい？

建物の壁や柱、屋根は日々厳しい自然環境の中にさらされています。建物を長く保つためには定期的なメンテナンスが必要です。板金製の屋根の場合定期的に塗装が必要です。あまり放っておくと錆などで屋根が傷みます。塗る塗料の種類には様々なものがあり、耐久性にも違いがあります。一般的にウレタン塗は5〜7年、シリコンは7〜10年、フッ素は10〜15年が耐久年数と言われています。



▲施工前



▲施工後(フッ素による塗装)

年数が経過して心配、または気になることがあります。お気軽にご相談ください。

### 空き家・空き地など 不動産の有効活用は山共まで お気軽にご相談ください。



お問い合わせ先

TEL.0263-77-3161 | [kentiku@yamakyo-k.com](mailto:kentiku@yamakyo-k.com)